



かしこ
賢く

家庭・地域と学校をつなぐ学校

やさ
しく

たくま
しく

令和6年(2024年)

1月10日発行

秦荘西小学校

令和6年度、新しい教育課程の実施について

次年度、秦荘西小学校が今よりもさらに、みんなが安心して通える学校になるよう、これまでの学校の当たり前を見直す教育課程改革を行います。今回の学校だよりでは、その具体についてご説明いたします。

1. 令和6年度の児童数・学級数

現在の1学級当たりの児童数(国の基準)は35名です。よって、次年度は新1年、新2年、新3年、新5年生が1学級となる予定です。

学年	新1年	新2年	新3年	新4年	新5年	新6年	ひまわり	なかよし	合計
人数	35人	35人	35人	44人	34人	45人	5人	8人	241人
クラス数	1学級	1学級	1学級	2学級	1学級	2学級	1学級	1学級	10学級

本校では次年度以降の入学者数も36人を下回ることが多く、これからの秦荘西小学校は1学年1クラス、30人以上の学年が多くなることが想定されます。また、今年度の学校評価では、保護者の皆様から意見をもとに教職員で現状を話し合い、以下のような課題が見えてきました。

2. 課題把握の現状

<教員>

- ・授業の中で集中力の途切れる児童が増えてきた。特に午後からは顕著となる。
- ・学級の様々な問題、課題に対して、まだまだ担任一人で抱え込む現状がある。

<保護者の意見>

- ・学級担任によって学級の雰囲気や学習への姿勢、学習の進度等が異なることがあり、不安。
- ・学級の人数が多く、一人一人をもっとしっかり見てほしい。



<改革の方針>

「これまでの学校の当たり前を見直し、みんなが安心して通える学校に！」

- ・一人の学級担任がすべての業務を担う現状から、複数の教員が児童を支援できる体制づくり
- ・児童の実態に応じた、柔軟な日課の再編成
- ・教員の専門性を生かした質の高い授業の提供

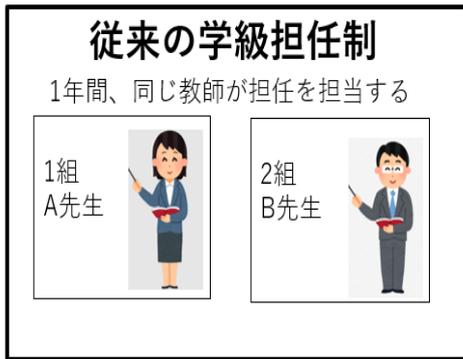
学年担任制

教科担任制

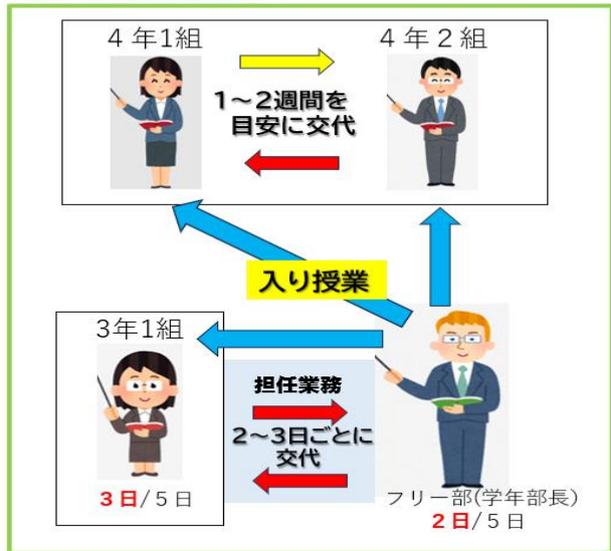
40分授業午前5時間制

3. 新しい教育課程改革の具体

① 学年担任制（3年生以上）の導入



学年担任制 (R6の中学年を想定)



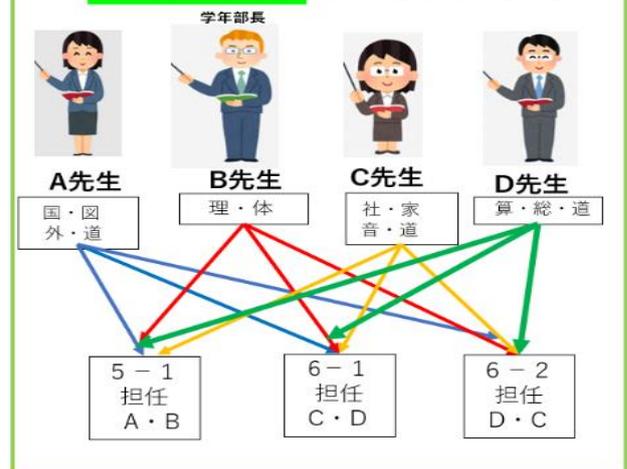
複数の教員で児童の成長を見守ることができるよう、3年生以上の学年で、「学年担任」を導入します。学級担任を固定せず、学年の担任が定期的に交代しながら交互にそれぞれの学級を担任します。

令和6年度の中学年を例にすると、次年度は3年生が1クラス、4年生が2クラスの予定です。そこで4年生の担任は、1~2週間を目安に交代しながら2人の教員で4年生44人を見守ります。3年生には、学級担任の他に、担任外(フリー部)の教員がその学級の担任業務を週に2日程度受け持つことで、人数の多い3年生の児童を複数の目で支援します。また、担任外の教員が4年生にも入り授業に入ることで中学年全体の児童の様子を掌握し、中学年部長として3、4年生のよりよい学年部経営の中核を担います。

② 教科担任制（5年生以上）の導入



教科担任制 (R6の高年生を想定)



これまで、学級担任制では、一人の学級担任が多くの教科を指導していましたが、教科担任制では、教科によって指導する教員が変わります。

令和6年度の高学年を例にすると次年度は5年生が1クラス、6年生が2クラスの予定です。上記の学年担任制を導入するため、6年生は二人の担任が両クラスを交互に担任し、1クラスの5年生には、担任外の教員が1週間に2日ほど担任業務を行う高学年部長を配置します。

そして、高学年担任団4人を中心に指導教科を固定し、教科担任制を実施します。教科によって指導する教員が変わり、より専門的な指導を行いながら、複数の目で児童を支援する体制を整えます。

前述の「学年担任制」については3年生以上で、「教科担任制」は高学年で実施します。1, 2年生、特別支援学級については、その専門性や担任とのつながりが児童の安心に大きく寄与することから、学級担任制を維持します。よって、次年度の下の体制で児童を見守って参ります。

ひまわり (知的)	学級担任制	}	特別支援学級、1年生、2年生 はこれまでどおり学級担任制	
なかよし (自・情)				
1年生				
2年生				
3年生	学年担任制	}	3年生以上で、学年担任制を導入 + 4年生は一部の教科で教科担任制を導入 5年生、6年生では教科担任制を導入	
4年生				一部教科担任制
5年生				教科担任制
6年生				

40分授業午前5時間制の導入

45分間の授業の中で集中力が途切れる児童が増えており、午後からはその傾向が顕著になるという課題、また学年担任制を実施するにあたり、放課後の児童に関する情報共有の時間の確保という課題に対して見出した答えが、「40分授業午前5時間制」の導入です。

この制度では、午前中の授業時間を45分間から40分間と5分間短縮し、児童の集中力が保ちやすい午前中に5コマの授業を行います。午後からは、短時間学習(秦西タイム)を20分間とり、午前中に行った学習内容の定着を図ります。午後の6時間目は45分間で行います。秦西タイムと6時間目を合わせると、65分間の長時間活動も可能となり、時間を要する活動の際には積極的に活用していきます。「学びの午前」、「活動の午後」というデザインで日課を再編成することで、時間という資源を有効活用しながら、児童の実態に応じた学校生活づくりを目指します。また、この日課により、約25分下校が早まります。次年度より現在のタブレットドリルから、児童の学習状況をAIが分析し、個別最適な問題が出題できるAIドリルに変更予定です。この放課後のゆとりの時間に、児童は家庭学習でAIドリルを有効に活用して自律的に学びを進める習慣を身につけることを目指し、学校では担任団の児童や授業に関する情報共有、授業力向上のための研修等の時間に活用します。

従来の日課	40分授業午前5時間制
8:20 秦西タイム	8:20 朝の会
8:45 朝の会	8:30 1時間目(40)
9:30 1時間目(45)	9:10 2時間目(40)
10:40 2時間目(45)	10:40 3時間目(40)
中休み	中休み
12:15 3時間目(45)	12:20 4時間目(40)
給食	12:20 5時間目(40)
昼休み	給食
そうじ	昼休み
13:35 5時間目(45)	14:05 秦西タイム(20)
6時間目(45)	14:50 6時間目(45)
14:30 帰りの会	14:50 帰りの会
15:30 下校完了	15:05 下校完了
放課後	放課後

【40分授業午前5時間制について】

東京都目黒区の小学校で約20年前から導入されたことを契機に全国で導入する学校が増えています。

本校も、愛荘町教育委員会が7月、11月に行った目黒区内小学校の視察に同行し、導入を検討してきました。

この度、愛荘町のモデル事業として、40分授業午前5時間制を取り入れます。なお、目黒区は文部科学省研究開発校の指定を受けており、今回、本校はその研究開発校の協力校(予定)として目黒区がこれまで培ったノウハウなどを学びながら、導入していきます。



令和6年度の日課表（予定）

朝の会（健康観察）	8：20 ～ 8：30
1校時(40)	8：30 ～ 9：10
2校時(40)	9：15 ～ 9：55
3校時(40)	10：00 ～ 10：40
中 休 み	10：40 ～ 10：50
4校時(40)	10：55 ～ 11：35
5校時(40) *水曜日のみ(45)	11：40 ～ 12：20 (水) 11：40 ～ 12：25
給 食	12：20 ～ 13：00 (水) 12：25 ～ 13：05
昼 休 み	13：00 ～ 13：25 (水) 13：05 ～ 13：40
清 掃	13：30 ～ 13：40
短 時 間 学 習 (20分)	13：45 ～ 14：05
(帰 り の 会)	14：05 ～ 14：15
6校時(45)	14：05 ～ 14：50
帰 り の 会	14：50 ～ 15：00
下 校 時 刻	14：20（5校時終了時）
(集 団 下 校)	15：05（6校時終了時）

【朝の会】

開始時刻はこれまでと同時刻です。よって、集団登校時刻はこれまで変わりません。

【給食】

午前中に5コマ行いますが、給食開始時刻は今年度より5分遅い程度です。

【水曜日：道徳】

今年度の保護者アンケートから、「思いやりの心、礼儀・マナーの教育」に力を入れることになりました。よって水曜日5時間目は全校道徳の時間とし、この時間は45分間の授業を行います。

【短時間学習（秦西タイム）】

基本的には午前中学習した内容の定着を図ります。次年度より、児童個々の学習状況を精査し、理解度に応じて最適な課題を出題できるAIドリルの導入を予定していますので、それも活用しながら学力の定着を図ります。

【下校時刻】

6時間授業 15時 5分

5時間授業 14時 20分

となり、今年度より、25分早まります。

月曜日（委員会） 第2・3・4月曜日（クラブ：45分）

令和6年度学校改革のまとめ

「みんなが安心できる秦荘西小」を目指します！

みんなが安心できる学校の実現

児童によし

児童が安心して通い、成長できる学校

保護者によし

保護者が安心して子供を通わせ、信頼できる学校

先生によし

先生が安心して仕事ができ、やりがいを感じる学校

学年担任制

- ・担任に依存しない自律的な子が育つ
- ・多くの目で子どもを見られる
- ・教員間で実践的な交流がしやすい
- ・柔軟な動きがとれる
- ・年休や時休に対応→取得しやすい

教科担任制

- ・多くの目で子どもを見られる
- ・経験やスキルの穴が埋まる
- ・指導力と教科の専門性向上
- ・教材研究の時間を減らせる

40分授業 午前5時間制

- ・時間という資源の工夫で「学びの午前」「活動の午後」でメリハリのある生活に
- ・これまでより放課後の時間が+30分確保
- ・研修・情報共有の時間を確保

新教育課程説明会開催の案内について

日時 令和6年2月2日（金） 10時40分～11時25分（学習参観の後）
場所 多目的室
内容 本紙記載の内容の詳細をご説明いたします。ぜひ、ご参加下さい。